



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月29日

上場会社名 株式会社 有沢製作所
 コード番号 5208 URL <http://www.arisawa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画部担当
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 有沢 悠太
 (氏名) 増田 竹史
 TEL 025-524-7101

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	10,785	—	1,032	—	1,060	—	777	—
2021年3月期第1四半期	10,597	0.5	748	48.9	732	23.2	428	71.2

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 807百万円 (—%) 2021年3月期第1四半期 727百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	23.31	23.28
2021年3月期第1四半期	12.89	12.87

2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。このため、当該基準等適用前の実績値に対する増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	67,764	46,474	67.3	1,366.51
2021年3月期	67,257	47,444	68.8	1,388.50

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 45,578百万円 2021年3月期 46,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	39.00	39.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期の配当は未定です。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,800	—	1,900	—	1,900	—	1,150	—	34.48
通期	43,900	—	3,300	—	3,500	—	2,100	—	62.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年7月29日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。このため、当該基準等適用前の実績値に対する増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料〇ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期1Q	34,490,324 株	2021年3月期	34,470,524 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2022年3月期1Q	1,136,197 株	2021年3月期	1,136,189 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期1Q	33,340,548 株	2021年3月期1Q	33,247,643 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界規模での新型コロナウイルス感染蔓延による経済活動停滞の影響を大きく受けています。また、新型コロナウイルス感染症対策のワクチン接種が開始されましたが、新型コロナウイルス感染拡大の収束時期の見通しが立たない中で先行きの不透明感は強く、企業業績への影響は長期化することが懸念されます。

このような状況のもと当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）においては、電子材料の売上が堅調であったことから、当第1四半期累計期間の業績は、売上高 107 億 85 百万円（1.8%増*）となりました。また、損益は営業利益 10 億 32 百万円（37.9%増*）、経常利益 10 億 60 百万円（44.8%増*）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 7 億 77 百万円（81.3%増*）となりました。

* 当第1四半期会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。
 （ ）内の増減率は、当期の実績値と「収益認識に関する会計基準」等を適用前の前期の実績値を単純比較した数値となります。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

(電子材料)

フレキシブルプリント配線板材料の販売が堅調に推移したこと等により、売上高は 76 億 64 百万円（11.2%増*）、セグメント利益は、9 億 59 百万円（24.8%増*）となっております。

(産業用構造材料)

航空機用材料の販売が減少したこと等により、売上高は 16 億 27 百万円（△27.0%減*）、セグメント利益は 1 億 73 百万円（△24.7%減*）となりました。

(電気絶縁材料)

重電機用絶縁材料の販売が減少したことから、売上高は 5 億 92 百万円（△5.3%減*）、セグメント利益は 54 百万円（14.6%増*）となりました。

(ディスプレイ材料)

カラーリンク・ジャパン㈱での偏光利用機器の販売が増加したこと等により、売上高は 7 億 69 百万円（33.9%増*）、セグメント利益は 2 億 5 百万円（7737.8%増*）となりました。

(その他)

売上高は 1 億 31 百万円（△52.5%減*）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて5億7百万円増加し、677億64百万円となりました。これは主に、商品及び製品が4億89百万円、原材料及び貯蔵品が4億52百万円それぞれ増加し、現金及び預金が5億17百万円減少したこと等によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べて14億78百万円増加し、212億90百万円となりました。これは主に、短期借入金(1年以内返済予定の長期借入金を含む)が5億74百万円、賞与引当金が3億33百万円、支払手形及び買掛金が2億24百万円増加したこと等によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べて9億70百万円減少し、464億74百万円となりました。これは、利益剰余金が4億82百万円、資本剰余金が4億32百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の受注予想から「収益認識に関する会計基準」等の適用を再検討しました結果、通期の売上高は前回発表予想値を下回る見込みですが、当第1四半期の連結業績を踏まえ、多機能携帯端末及びデータセンター向けを主用途とした電子材料の需要が堅調に推移することが見込まれることから、2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想及び通期連結業績予想につきましては、以下の通り修正いたします。

2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正
(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期 純利益 (円)
前回発表予想(A)	21,800	1,400	1,400	850	25.50
今回修正予想(B)	21,800	1,900	1,900	1,150	34.48
増減額(B-A)	0	500	500	300	
増減率(%)	0.0	35.7	35.7	35.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期)	22,203	1,375	1,347	853	25.67

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正

(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期 純利益 (円)
前回発表予想 (A)	44,400	2,800	3,000	1,800	54.00
今回修正予想 (B)	43,900	3,300	3,500	2,100	62.96
増減額 (B - A)	△500	500	500	300	
増減率 (%)	△1.1	17.9	16.7	16.7	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	46,439	3,118	3,578	2,160	64.94

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,215,508	12,697,649
受取手形及び売掛金	16,766,218	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	17,049,610
有価証券	1,242,430	1,398,297
商品及び製品	3,896,377	4,385,793
仕掛品	2,175,632	2,175,414
原材料及び貯蔵品	3,026,247	3,478,974
未収還付法人税等	1,415,974	1,415,974
その他	778,645	706,182
貸倒引当金	△161,830	△158,372
流動資産合計	42,355,204	43,149,524
固定資産		
有形固定資産	13,217,395	13,377,264
無形固定資産	244,870	237,035
投資その他の資産		
投資有価証券	10,666,038	10,245,859
その他	788,832	769,857
貸倒引当金	△14,923	△14,600
投資その他の資産合計	11,439,946	11,001,117
固定資産合計	24,902,213	24,615,417
資産合計	67,257,417	67,764,941

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,657,426	6,882,215
1年内償還予定の社債	36,800	36,800
短期借入金	3,606,087	3,792,537
1年内返済予定の長期借入金	182,724	570,724
未払法人税等	277,821	425,335
賞与引当金	535,756	869,676
役員賞与引当金	3,870	975
その他	2,817,772	2,878,159
流動負債合計	14,118,258	15,456,423
固定負債		
社債	54,400	36,000
長期借入金	3,761,507	3,957,499
退職給付に係る負債	607,032	594,030
資産除去債務	89,466	91,312
その他	1,181,934	1,155,501
固定負債合計	5,694,340	5,834,344
負債合計	19,812,598	21,290,767
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,623,638	7,629,915
資本剰余金	4,403,396	3,971,325
利益剰余金	33,374,092	32,891,213
自己株式	△1,159,364	△1,159,372
株主資本合計	44,241,763	43,333,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,569,049	1,428,055
繰延ヘッジ損益	△8,237	△8,115
為替換算調整勘定	486,242	825,948
退職給付に係る調整累計額	△3,959	△201
その他の包括利益累計額合計	2,043,095	2,245,686
新株予約権	193,962	169,152
非支配株主持分	965,997	726,252
純資産合計	47,444,819	46,474,173
負債純資産合計	67,257,417	67,764,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	10,597,738	10,785,102
売上原価	8,661,599	8,449,150
売上総利益	1,936,138	2,335,951
販売費及び一般管理費	1,187,234	1,302,972
営業利益	748,904	1,032,979
営業外収益		
受取利息	75,622	47,871
受取配当金	44,182	36,273
投資有価証券償還益	4,368	34,309
その他	39,048	36,262
営業外収益合計	163,222	154,716
営業外費用		
支払利息	29,157	28,481
為替差損	58,851	45,474
投資有価証券償還損	38,697	—
その他	52,740	53,133
営業外費用合計	179,447	127,089
経常利益	732,678	1,060,606
特別利益		
固定資産売却益	—	1,478
新株予約権戻入益	1,399	37,409
特別利益合計	1,399	38,887
特別損失		
固定資産除却損	4,138	4,166
特別損失合計	4,138	4,166
税金等調整前四半期純利益	729,939	1,095,327
法人税等	251,184	268,535
四半期純利益	478,755	826,791
非支配株主に帰属する四半期純利益	50,118	49,571
親会社株主に帰属する四半期純利益	428,636	777,220

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	478,755	826,791
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	569,862	△140,994
繰延ヘッジ損益	1,417	122
為替換算調整勘定	△338,533	108,914
退職給付に係る調整額	18,235	3,757
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,353	9,194
その他の包括利益合計	248,628	△19,005
四半期包括利益	727,383	807,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	825,697	979,812
非支配株主に係る四半期包括利益	△98,313	△172,025

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、顧客への製品の販売における当社の役割が代理人に該当する取引について、従来顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、当該対価の総額から第三者に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識する方法に変更しております。また、有償支給取引については、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高相当額について有償支給取引に係る負債を認識しております。さらに、有償受給取引については、従来有償支給元への売り戻し時に売上高と売上原価を計上しておりましたが、加工代相当額のみを純額で収益として認識する方法に変更しております。さらに、一部の顧客への販売については、資産に対する支配を顧客に一定の期間にわたり移転することに伴い、製造の進捗に応じて収益を一定の期間にわたり認識するよう変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,030,756千円減少し、売上原価は1,016,049千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ14,706千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は39,939千円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子材料	産業用構造材料	電気絶縁材料	ディスプレイ材料	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	6,890,091	2,231,013	625,577	575,207	10,321,889	275,849	10,597,738
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	203,767	203,767
計	6,890,091	2,231,013	625,577	575,207	10,321,889	479,616	10,801,506
セグメント利益	768,601	229,779	47,326	2,626	1,048,334	55,823	1,104,158

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関連商品販売、物流関連及びその他事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,048,334
「その他」の区分の利益	55,823
セグメント間取引消去	2,230
全社費用(注)	△334,670
棚卸資産の調整額	△22,814
四半期連結損益計算書の営業利益	748,904

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子材料	産業用構造材 料	電気絶縁材料	ディスプ レイ材料	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	7,664,109	1,627,799	592,168	769,940	10,654,017	131,084	10,785,102
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	205,543	205,543
計	7,664,109	1,627,799	592,168	769,940	10,654,017	336,627	10,990,645
セグメント利益	959,309	173,085	54,241	205,851	1,392,488	55,305	1,447,793

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関連商品販売、物流関連及びその他事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,392,488
「その他」の区分の利益	55,305
セグメント間取引消去	4,426
全社費用 (注)	△394,719
棚卸資産の調整額	△24,521
四半期連結損益計算書の営業利益	1,032,979

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。